

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度、別掲の項目につきまして本年4月より検査方法・基準値等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

検査内容変更項目

別掲の一覧表をご参照下さい。

実施期日

平成18年4月1日(土) 受付日分より

検査内容変更一覧

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
0001	総ビリルビン (T-BIL)	検査方法	バナジン酸化法 [和光純薬]	アゾビリルビン法 [第一化学]	高性能試薬への切替
0002	直接ビリルビン (D-BIL)	検査方法 基準値	バナジン酸化法 [和光純薬] 0.0 ~ 0.4 mg/dL	アゾビリルビン法 [第一化学] 0.0 ~ 0.5 mg/dL	
0002	間接ビリルビン (I-BIL)	検査方法 基準値	バナジン酸化法 [和光純薬] 0.2 ~ 0.7 mg/dL	アゾビリルビン法 [第一化学] 0.2 ~ 0.6 mg/dL	
0015	LAP (ロイシンアミノペプチダーゼ)	基準値	M 45 ~ 81 IU/L/37 F 37 ~ 61	M 100 ~ 200 U (G-R単位) F 80 ~ 180	国際単位の採用
0014	コリンエステラーゼ (Ch-E)	検査方法 基準値	p-ヒドロキシベンゾイルコリン法 [セロテック] M 234 ~ 493 IU/L/37 F 200 ~ 452	プチリルチオコリン基質-DTNB比色法 [ダイヤ試薬] 3,000 ~ 7,000 IU/L/37	JSCC 勧告法の採用
0080	血清アミラーゼ (S-AMY)	検査方法 基準値	酵素法 (Gal-G2-CNP 基質法) [第一化学] 40 ~ 122 IU/L/37	酵素法 (B-G5-CNP 基質法) [ダイヤ試薬] 55 ~ 175 IU/L/37	JCCLS 設定値の採用
0081	尿アミラーゼ (U-AMY)	検査方法 基準値	酵素法 (Gal-G2-CNP 基質法) [第一化学] 65 ~ 840 IU/L/37	酵素法 (B-G5-CNP 基質法) [ダイヤ試薬] 30 ~ 950 IU/L/37	
3688	膵アミラーゼ 血清	検査方法 基準値	酵素法 (Gal-G2-CNP 基質法) [第一化学] 19 ~ 53 IU/L/37	酵素法 (G7-PNP 基質法) [ロシュ・ダイアグノスティックス] 20 ~ 70 IU/L/37	
0029	膵アミラーゼ 尿	検査方法	酵素法 (Gal-G2-CNP 基質法) [第一化学]	酵素法 (G7-PNP 基質法) [ロシュ・ダイアグノスティックス]	
3950	アミラーゼアイソザイム 血清	基準値	濃度換算活性値 S (唾液腺型) 12 ~ 83 IU/L/37 P (膵型) 19 ~ 53	濃度換算活性値 S (唾液腺型) 20 ~ 100 IU/L/37 P (膵型) 20 ~ 70	
3968	アミラーゼアイソザイム 尿	基準値	濃度換算活性値 S (唾液腺型) 8 ~ 227 IU/L/37 P (膵型) 34 ~ 470	濃度換算活性値 S (唾液腺型) 20 ~ 360 IU/L/37 P (膵型) 50 ~ 690	
1548	リパーゼ 血清	保存方法	冷蔵	凍結	保存条件の見直し
7406	ヒ素	基準値	0.05 µg/mL 未満 (検出限界未満)	検出せず	基準値報告の適正化
1328	バラコート	基準値	0.1 µg/mL 未満 (検出限界未満)	検出せず	
2715	至急バラコート	基準値	0.1 µg/mL 未満 (検出限界未満)	検出せず	
2716	ジクワット	基準値	0.1 µg/mL 未満 (検出限界未満)	検出せず	
2713	至急ジクワット	基準値	0.1 µg/mL 未満 (検出限界未満)	検出せず	
3201	三・四環系抗うつ薬スクリーニング	対象薬物	フェニチアジン類薬 (クロルプロマジン、 レボメプロマジン、プロメタジン) の削除		検査対象薬物の見直し
8827	乱用薬物スクリーニング	対象薬物	オキシコドン削除		
8684	アヘン系麻薬検査	対象薬物 所要日数	オキシコドン削除 3 ~ 5日	5 ~ 11日	
3370	アンジオテンシン II	検査方法	第二抗体 (抗ウサギ IgG ヒツジ血清) [Biogenesis]	第二抗体 (抗ウサギ IgG ヤギ血清) [大日本製薬]	現行試薬の販売中止
0971	セロトニン	検体量	EDTA 加血液 0.6mL 多血小板血漿 0.6mL	EDTA 加血液 2.0mL 多血小板血漿 2.0mL	検査工程の改善による 少量化
2951	セロトニン 髄液	検体量	髄液 0.6mL	髄液 2.0mL	
5314	前立腺特異抗原 (PSA)	検査方法 基準値 報告下限 報告桁数	CLEIA法 [ヤマサ醤油] 4.00 ng/mL 以下 0.008 ng/mL 未満 小数第3位 有効数字3桁	IRMA法 (ビーズ固相法) [ヤマサ醤油] 4.0 ng/mL 以下 0.2 ng/mL 以下 小数第1位 有効数字3桁	高性能試薬への切替
0263	水痘・帯状ヘルペス	検査方法	CF法 [デンカ生研]	CF法 [日水製薬]	現行試薬の販売中止
0152	CRP 《定性》	検査方法 判定基準	ラテックス凝集比濁法 [栄研化学] 陰性: 0.30 mg/dL 以下	ラテックス凝集比濁法 [栄研化学] 陰性: 0.5 mg/dL 以下	高性能試薬への切替
0201	CRP 《定量》	検査方法 基準値 報告桁数	ラテックス凝集比濁法 [栄研化学] 0.30 mg/dL 以下 小数第2位	ラテックス凝集比濁法 [栄研化学] 0.5 mg/dL 以下 小数第1位	
3855	心室筋ミオシン軽鎖 I	検査方法 所要日数	EIA法 [ヤマサ醤油] 2 ~ 5日	IRMA法 [ヤマサ醤油] 3 ~ 5日	現行試薬の販売中止
1509	抗カルジオリピン抗体	項目名称	抗カルジオリピン抗体 IgG	抗カルジオリピン抗体	表記の適正化

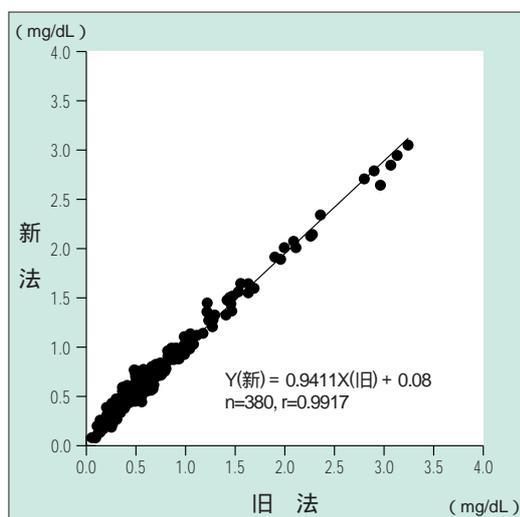
コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備 考
0227	血清補体価 (CH ₅₀)	検査方法	Mayer変法 [ロシュ・ダイアグノスティックス]	Mayer変法 [ロシュ・ダイアグノスティックス]	専用試薬から汎用試薬への変更
	出血凝固検査用容器	添加剤	クエン酸ナトリウム 3.2%	クエン酸ナトリウム 3.8%	対象項目は後記参照
1079	膵分泌性トリプシンインヒビター(PSTI)	所要日数	2～5日	2～4日	
1507	グリコール酸(CG)	所要日数	2～5日	2～4日	
8691	大麻マリファナ検査	所要日数	3～5日	5～11日	
8694	幻覚剤検査	所要日数	3～5日	5～11日	
8821	コカイン系麻薬検査	所要日数	3～5日	5～11日	
8285	尿中エタノール	所要日数	4～6日	6～8日	
0928	サイロキシン結合グロブリン(TBG)	所要日数	2～5日	2～4日	
0421	総エストロジェン・妊婦	所要日数	2～8日	2～4日	
1066	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG) 血清	所要日数	2～3日	2～4日	
1067	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG) 尿	所要日数	2～3日	2～4日	
3779	ガスリン	所要日数	2～5日	2～4日	
4144	I型コラーゲンC-テロペプチド(ICTP)	所要日数	2～4日	2～5日	
4205	プロテインS	所要日数	2～8日	3～9日	
5360	13染色体(13トリソミー/Patau症候群)				
5361	18染色体(18トリソミー/Edwards症候群)	備 考	細胞分裂像での所要日数: 6～10日	細胞分裂像での所要日数: 7～12日	
5362	21染色体(21トリソミー/Down症候群)				
5110	X染色体(cen)の検出				
5111	Y染色体(cen)の検出				
0446	Y/Y染色体 SHOX(Xp22.3/Yp11.3欠失解析)				
0453	Y染色体 SRY(Yp11.3転座/欠失解析)				
0458	Y染色体 DAZ(Yq11.23欠失解析)				
1498	4染色体 Wolf-Hirschhorn 症候群				
5359	7染色体 Williams 症候群	所要日数	6～10日	7～12日	
5112	15染色体 Prader-Willi 症候群				
5113	15染色体 Angelman 症候群				
5114	17染色体 Miller-Dieker 症候群				
5375	17染色体 Charcot-Marie-Tooth(CMT)1A型				
5115	22染色体 DiGeorge 症候群				
1992	X染色体 STS(Xp22.3欠失解析)				
0352	単純ヘルペス1型	備 考	1型と2型には抗原交差性があります。		注記の追加
0364	単純ヘルペス2型				
4859	単純ヘルペスウイルス(HSV)-DNA同定			髄液 0.5mL 凍結(-70 以下)	
5342	水痘・帯状ヘルペスウイルス(VZV)-DNA同定		髄液 0.5mL 凍結(-70 以下)	ぬぐい液 凍結(-70 以下)	
4053	サイトメガロウイルス(CMV)-DNA同定	検査材料	ぬぐい液 凍結(-70 以下)		適応材料の拡充
5053	EBウイルス(EBV)-DNA同定		EDTA加血液 各5mL 冷蔵	EDTA加血液 各5mL 冷蔵	
5329	ヒトヘルペスウイルス6型(HHV6)-DNA同定				
7484	単純ヘルペスウイルス(HSV)-DNA定量 リンパ球				
7504	サイトメガロウイルス(CMV)-DNA定量 リンパ球				
7506	水痘・帯状ヘルペスウイルス(VZV)-DNA定量 リンパ球				
7497	EBウイルス(EBV)-DNA定量 リンパ球	備 考	DNAが規定量回収できない場合は、換算値にて結果をご報告する場合があります。		注記の追加
7507	ヒトヘルペスウイルス6型(HHV6)-DNA定量 リンパ球				
7513	ヒトヘルペスウイルス7型(HHV7)-DNA定量 リンパ球				
7515	ヒトヘルペスウイルス8型(HHV8)-DNA定量 リンパ球				
6982	ノロウイルス(SRSV)-RNA同定	備 考	吐物(2mL)でも検査可		適応材料の拡充
4163	Q熱(<i>Coxiella burnetii</i>)-DNA同定	備 考	受付: 休前日不可	受付: 材料がEDTA加血の場合は休前日不可	表記の適正化
0451	梅毒定性《TPHA法》	備 考	髄液も検査可 (検体量0.5mL)		
0455	梅毒定性《FTA-ABS法》	備 考	髄液も検査可 (検体量0.5mL)		
0456	梅毒定量《TPHA法》	備 考	髄液も検査可 (検体量0.5mL、参考基準値10倍未満)		適応材料の拡充
0478	梅毒定量《FTA-ABS法》	備 考	髄液も検査可 (検体量0.5mL、参考基準値1倍未満)		
4083	抗ガラクトース欠損IgG抗体(CA・RF)	備 考 検体の安定性	削除 4週	必ず新鮮血清を検体としてご提出下さい。 -	提出条件の見直し
4080	ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子同定 (<i>mecA</i> ・ <i>spa</i>)	検査材料	[脚注表記] 膿・血液培養液・腹水・眼 球保存液・スワブ・コロニー・喀痰	その他	適応材料の明記
	<i>C.perfringens</i> (ウェルシュ菌)	使用培地	GAM半流動培地・KM加CW培地	KM加CW培地	表記の適正化

総ビリルビン・直接/間接ビリルビン

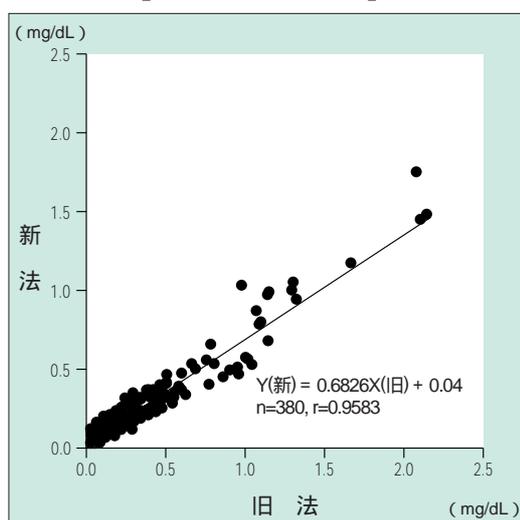
検査方法を直接ビリルビン測定時に間接ビリルビンの影響を受けない測定法に変更致します。測定方法変更に伴い、弊社従業員健常者の実測値に基づき直接/間接ビリルビンの基準値を再設定致します。

新旧二法の相関

[総ビリルビン]



[直接ビリルビン]



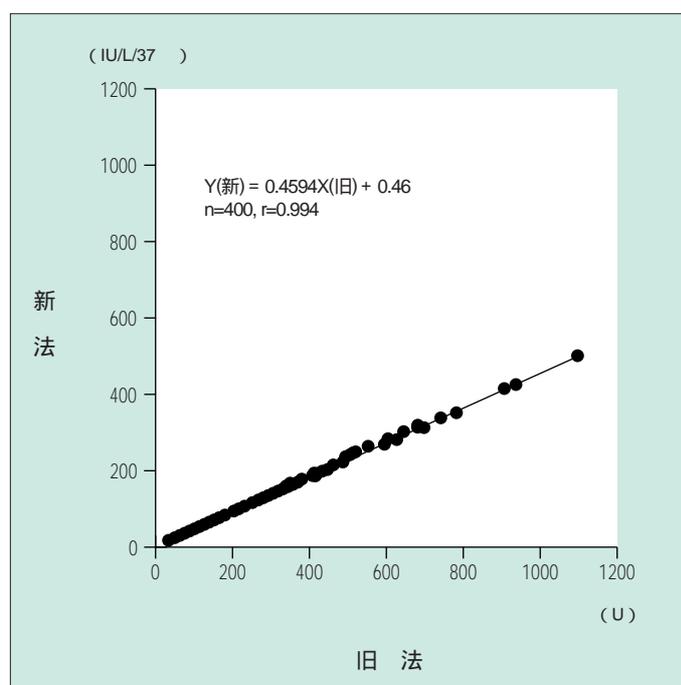
[社内検討データ]

LAP (ロイシンアミノペプチダーゼ)

従来LAP活性の検査結果はGoldbergおよびRutenbergの定義によるG-R単位(U)にてご報告して参りましたが、今日では国際単位(IU/L/37)表示が主流であることから、報告単位を変更するとともに、弊社従業員健常者の実測値に基づき基準値を再設定させていただきます。

なお、今般の変更は報告単位に限るものであり、使用する検査試薬ならびに検査手順には全く変更ございません。

新旧報告単位における活性値の相関



[社内検討データ]

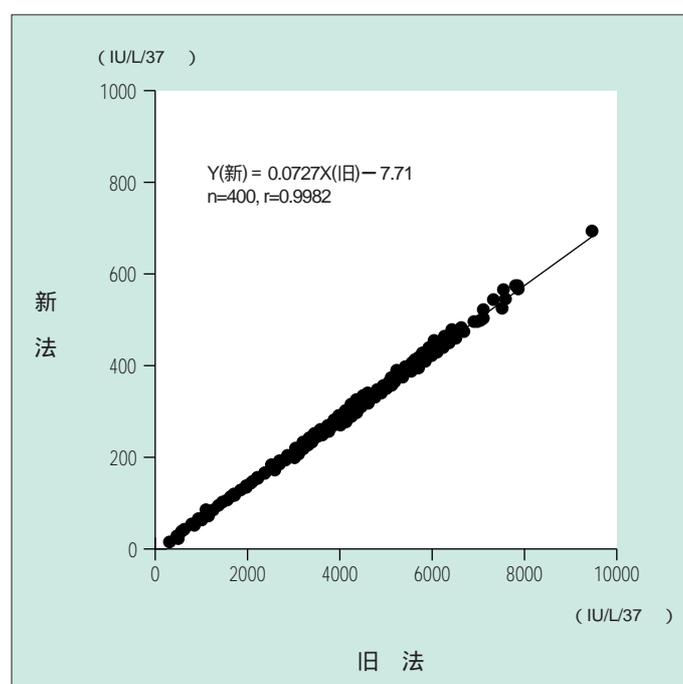
コリンエステラーゼ (Ch-E)

検査方法を日本臨床化学会 (JSCC) 勧告法に改めるとともに、弊社従業員健常者の実測値に基づき基準値を再設定致します。

酵素の場合、その結果が測定条件に大きく依存する触媒活性値で示されることから、理論的にも“真値”が定め難いという特徴があります。そのため、異なる検査方法に由来する検査データの施設間差が大きな問題となってきました。こうした事情を背景として、JSCCによる各種酵素検査の標準化のための勧告法が公表され、その普及が推進されています。

JSCC 勧告法の導入により検査結果の絶対値が従来と大きく異なることとなりますが、データの施設間統一への寄与を目的とする措置であることにご理解をお願い致します。

新旧二法の相関



[社内検討データ]

検査法参考文献

日本臨床化学会酵素専門委員会：臨床化学 32：162-179, 2003.

血清アミラーゼ・尿アミラーゼ・膵アミラーゼ

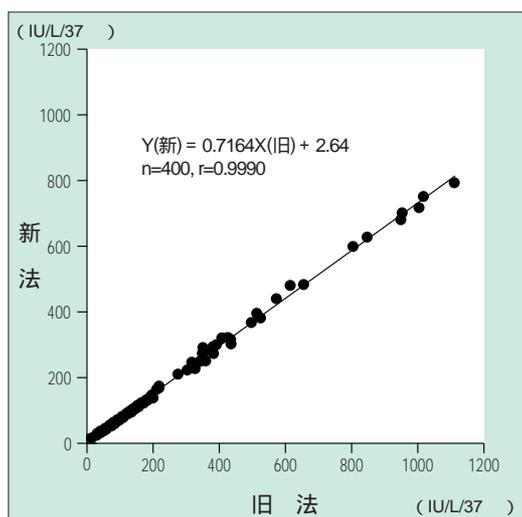
測定方法を日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) 認証値に基づいて値付けされた試薬に改めるとともに、弊社従業員健常者の実測値に基づき基準値を再設定致します。

試薬の変更により検査結果の絶対値が現行法と比し、異なることとなりますが、データの施設間統一への寄与を目的とする措置であることにご理解をお願い致します。

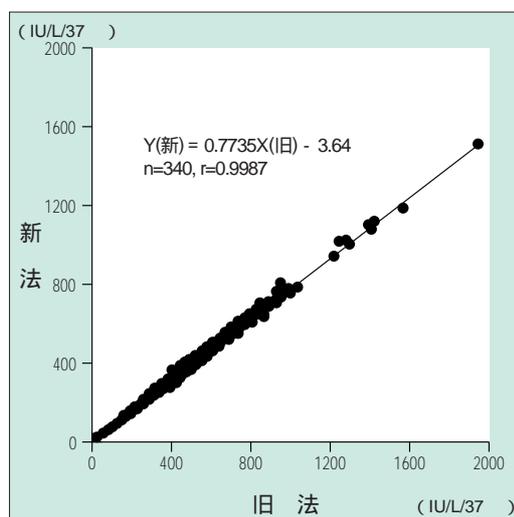
なお、活性値測定法の変更に併せて、アイソザイム検査における濃度換算活性値ならびにその基準値も変更となります。

新旧二法の相関

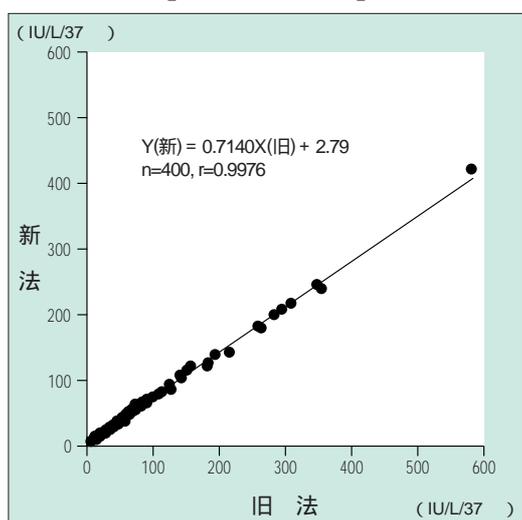
[血清アミラーゼ]



[尿アミラーゼ]



[膵アミラーゼ]



[社内検討データ]

検査法参考文献

池田勝義, 他 : 日本臨床検査自動化学会会誌 27 : 183-188, 2002.

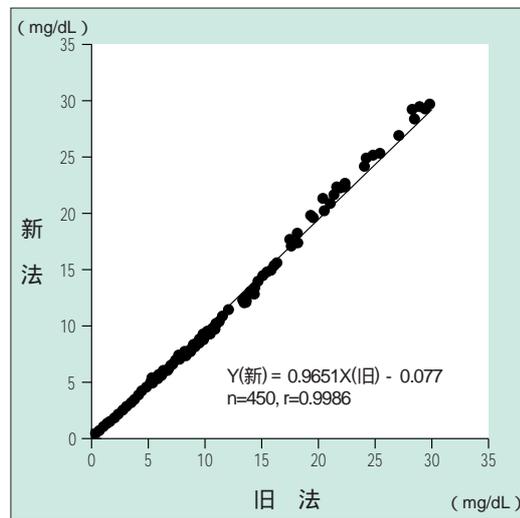
CRP 定量

現行試薬と同一メーカーが販売する高性能試薬に変更致します。

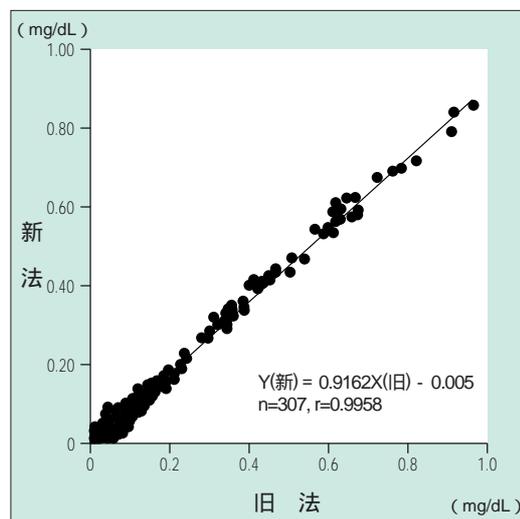
試薬変更に伴い、弊社従業員健常者の実測値に基づき基準値を再設定致します。また、定性検査の判定基準も併せて変更致します。

新旧二法の相関

[全体]



[低値域]



[社内検討データ]

検査法参考文献

小林 隆, 他 : 機器・試薬 26 : 497-504, 2003.

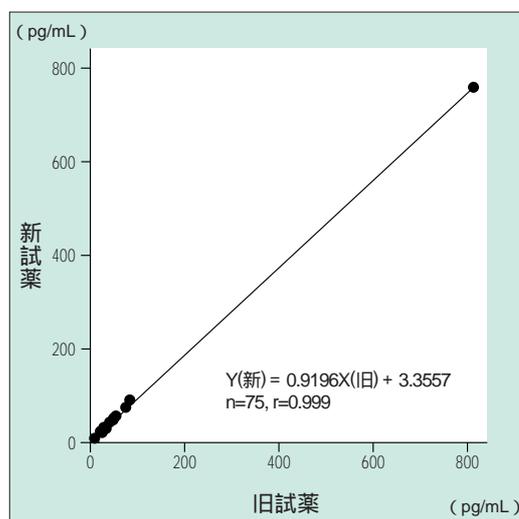
アンジオテンシン

現行測定系の第二抗体には抗ウサギIgG ヤギ血清を用いておりますが、当該試薬の販売中止に伴い抗ウサギIgG ヒツジ血清に変更致します。なお、第一抗体 (抗アンジオテンシン II 抗体) は変更ございません。

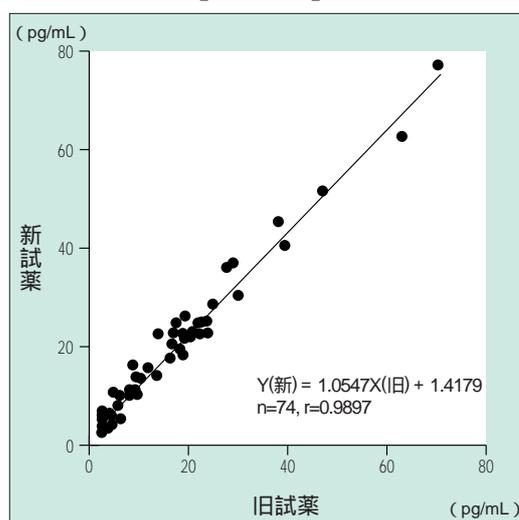
新旧二法の相関は良好であり、基準値は現行通りです。

新旧二法の相関

[全体]



[低値域]



[社内検討データ]

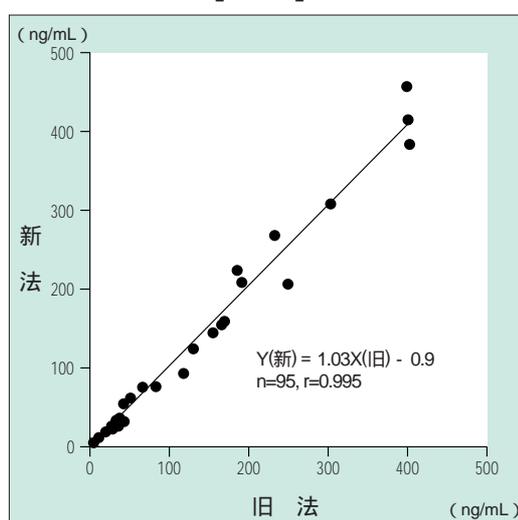
前立腺特異抗原 (PSA)

現行IRMA法をより高感度なCLEIA法に変更致します。新法では従来法にて検出困難であった超低濃度域(0.008ng/mL)まで測定可能となります。このため、前立腺癌のスクリーニングから治療後の経過観察に広く用いることができます。

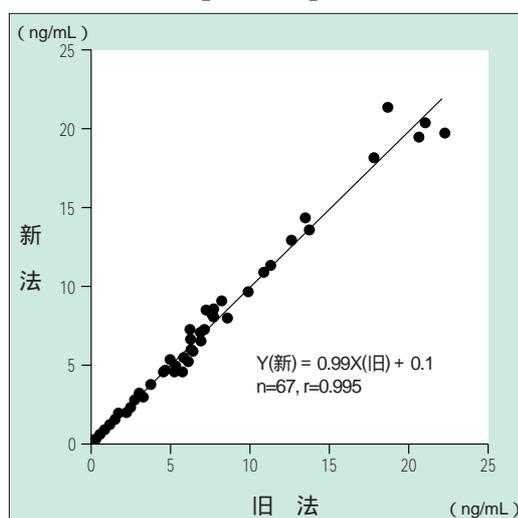
現行試薬は米国Hybritech社(現Beckman Coulter社)の“Tandem-R”として知られていますが、新試薬は同社で製造する化学発光を用いた測定系で事実上の次世代Tandem試薬と云えます。

新旧二法の相関

[全体]



[低値域]



[社内検討データ]

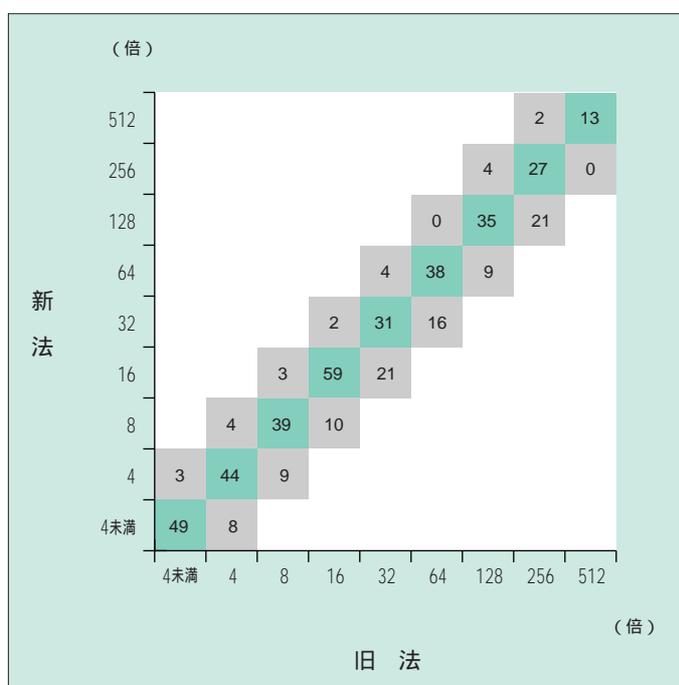
検査法参考文献

植山 実, 他: 機器・試薬 26: 253-258, 2003.

水痘・帯状ヘルペス《CF法》

現行試薬の製造中止に伴い、代替する新試薬に変更致します。
新旧両法のデータ相関は良好であり、判定基準には変更ございません。

新旧二法の相関



[社内検討データ]

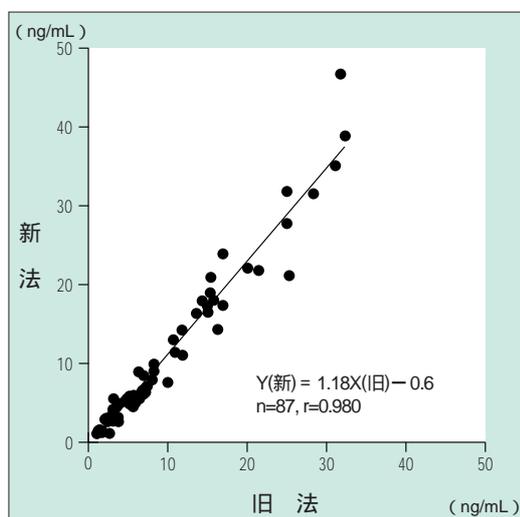
心室筋ミオシン軽鎖

現行IRMA法の製造中止に伴い、同一メーカーより供給開始されるEIA試薬への切替を実施致します。

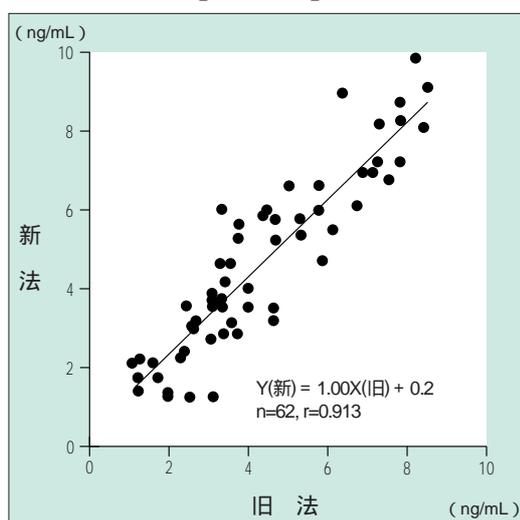
新旧両法のデータ相関は良好であり、基準値等の変更はございません。また、報告所要日数の短縮が可能となりました。

新旧二法の相関

[全体]



[低値域]



[社内検討データ]

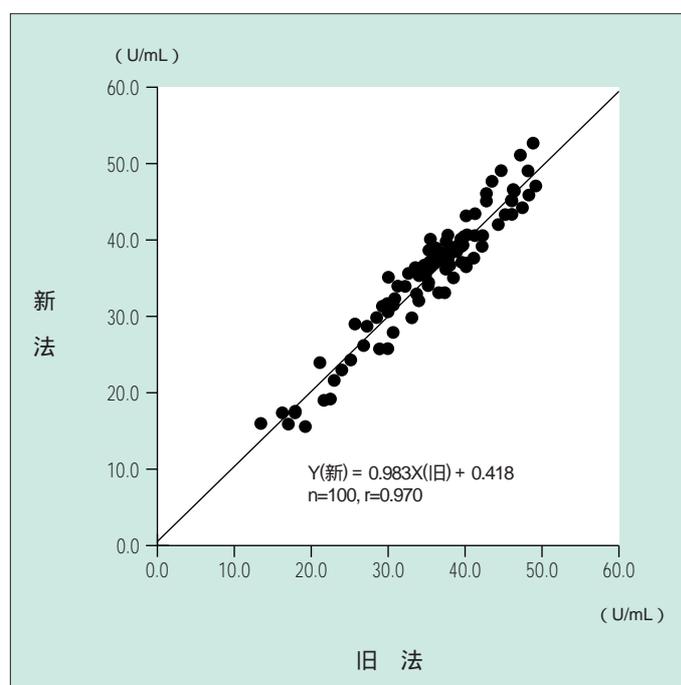
検査法参考文献

宮崎修一, 他: 医学と薬学 52: 443-449, 2004.

血清補体価 (CH₅₀)

現行専用試薬を同一メーカーが供給する汎用測定機器を用いる試薬に切替を実施致します。
新旧両法のデータ相関は良好であり、検体量・基準値等の変更はございません。

新旧二法の相関



[社内検討データ]

緊急報告項目対象項目とその基準

緊急報告対象項目ならびにその基準を日本臨床検査自動化学会の『極端値・パニック値対応マニュアル ver.1.4』に準拠した基準に変更致します。

緊急報告基準の変更

コード	検査項目名	新	旧
0501	白血球数 (WBC)	1,500以下, 20,000以上 / μ L	1,000以下, 25,000以上 / μ L
7934	プロトロンビン時間-INR (PT-INR)	2.00以上	-
0556	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	60秒以上	-
0047	ナトリウム (Na)	120以下, 160以上 mEq/L	110以下, 170以上 mEq/L
0048	カリウム (K)* ¹	2.5以下, 7.0以上 mEq/L	2.5以下, 6.5以上 mEq/L
0050	カルシウム	6.0以下, 12.0以上 mg/dL	6.0以下, 14.0以上 mg/dL
0021	総蛋白 (TP)	3.5以下, 10.0以上 g/dL	-
0036	尿酸 (UA)	2.0以下, 12.0以上 mg/dL	-
0032	クレアチニン (CRE)* ¹	8.00以上 mg/dL	-
0016	CK (CPK)	1,000以上 IU/L/37	-
0011	ALP(アルカリフォスファターゼ)	1,500以上 IU/L/37	-
0521	浸透圧 血清	255以下, 330以上 mOsm/L	-
0201	CRP《定量》	30.00以上 mg/dL	-

* 1 : 透析患者検体は除外

参考文献

極端値・パニック値対応マニュアル Ver.1.4 (2005. 9. 1). 日本臨床検査自動化学会会誌, 2005.

緊急報告対象項目とその基準 (基準改訂後)

	検査項目名	緊急報告基準値	基準値	単位
血液学	白血球数(WBC)	1,500以下, 20,000以上	3,300 ~ 9,000	/μL
	ヘモグロビン(Hb)* ¹	5.0以下, 20.0以上	M : 13.5 ~ 17.5 F : 11.5 ~ 15.0	g/dL
	血小板数(PLT)* ¹	3万以下, 100万以上	14万 ~ 34万	/μL
	白血球像* ²	プラスト出現 EBL(赤芽球) 多数出現(130/200以上) 異形細胞多数出現	Neut(好中球) 40.0 ~ 75.0 Stab(桿状核球) 1.0 ~ 7.0 Seg(分葉核球) 34.0 ~ 70.0 Lymph(リンパ球) 18.0 ~ 49.0 Mono(単球) 2.0 ~ 10.0 Eosi(好酸球) 0.0 ~ 8.0 Baso(好塩基球) 0.0 ~ 2.0	%
	プロトロンビン時間	25以上	9.5 ~ 12	秒
	プロトロンビン時間-INR(PT-INR)	2.00以上	0.85 ~ 1.15	
	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	60秒以上	23.5 ~ 42.5	秒
	生化学	血中アンモニア(NH ₃)* ³	400以上	30 ~ 86(採血直後測定)
グルコース(空腹時)* ⁴		50以下, 500以上	70 ~ 109	mg/dL
AST(GOT)		500以上	10 ~ 40	IU/L/37
ALT(GPT)		500以上	5 ~ 45	IU/L/37
LDH(乳酸脱水素酵素)		1,000以上	120 ~ 240	IU/L/37
血清アミラーゼ(S-AMY)		20以下, 1,000以上	40 ~ 122	IU/L/37
総ビリルビン(T-BIL)* ⁵		12.0以上	0.2 ~ 1.1	mg/dL
ナトリウム(Na)		120以下, 160以上	137 ~ 147	mEq/L
カリウム(K)* ¹		2.5以下, 7.0以上	3.5 ~ 5.0	mEq/L
カルシウム(Ca)		6.0以下, 12.0以上	8.4 ~ 10.4	mg/dL
尿素窒素(UN)* ¹		80以上	8 ~ 23	mg/dL
総蛋白(TP)		3.5以下, 10.0以上	6.7 ~ 8.3	g/dL
尿酸(UA)		2.0以下, 12.0以上	7.0以下	mg/dL
クレアチニン(CRE)* ¹		8.00以上	M : 0.61 ~ 1.04 F : 0.47 ~ 0.79	mg/dL
CK(CPK)		1,000以上	M : 60 ~ 270 F : 40 ~ 150	IU/L/37
ALP(アルカリフォスファターゼ)		1,500以上	100 ~ 325	IU/L/37
浸透圧 血清		255以下, 330以上	270 ~ 295	mOsm/L
血清学	CRP 定量	30.00以上	0.30以下	mg/dL
	ABO式血液型	表裏試験結果不一致		
	直間クームス試験* ⁶	(+)	(-)	
細菌	血液 塗抹・培養	菌の検出		
	髄液 塗抹・培養	菌の検出		
	培養	一類、二類、三類感染症原因菌の検出 バンコマイシン耐性腸球菌、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌		
一般	尿 糖定性* ⁶	(+)	(-)	
	尿 ケトン体* ⁶	(+)	(-)	
	尿 沈渣	ろろ様円柱(+)		
	検査項目名	緊急報告基準値	有効治療濃度	単位
薬物検査	フェノバルビタール	60以上	15 ~ 30	μg/mL
	プリミドン	15以上	5 ~ 10	μg/mL
	フェニトイン	30以上	10 ~ 20	μg/mL
	カルバマゼピン	12以上	4 ~ 10	μg/mL
	バルプロ酸ナトリウム	150以上	50 ~ 100	μg/mL
	エトスクシミド	120以上	40 ~ 100	μg/mL
	炭酸リチウム	2.00以上	0.40 ~ 1.00	mEq/L
	ジゴキシン	2.5以上	0.8 ~ 2.0	ng/mL
	ジギトキシン	35.0以上	10.0 ~ 25.0	ng/mL
	テオフィリン	25以上	10 ~ 20	μg/mL
	プロカインアミド	16以上	4 ~ 8	μg/mL
	リドカイン	6.0以上	1.4 ~ 6.0	μg/mL
	ゲンタマイシン	12以上	5 ~ 10	μg/mL
	トブラマイシン	12以上	5 ~ 8	μg/mL
	アミカシン	35以上	20 ~ 25	μg/mL
	アルベカシン	12以上	12以上(副作用発現域)	μg/mL
	バンコマイシン	60以上	30 ~ 60	μg/mL
サリチル酸	400以上	150 ~ 300(抗リウマチ薬として)	μg/mL	

* 1 : 透析患者検体は除外

* 2 : 初診者より検出した場合のみ

* 3 : 除蛋白不良が考えられる場合、コメントにて連絡

* 4 : 低値は、NaF入り採血管使用の検体のみ

* 5 : 新生児は除外

* 6 : 新生児に限る

凝固検査容器

血液凝固検査の専用容器に含まれる抗凝固剤のクエン酸ナトリウム濃度を現行の3.8%から3.2%に変更致します。現在、国際血液標準化委員会、国際血栓止血学委員会および米国・国際臨床検査標準化委員会、欧州臨床検査標準化委員会では血液凝固検査の抗凝固剤を109mmol/Lのクエン酸ナトリウム水和塩が血液と等張であるとし、これを推奨しています。

対象項目

コード	検査項目名
7934	プロトロンビン時間 (PT)
0556	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)
0559	フィブリノーゲン (FIB)
0558	複合因子T (トロンボテスト)
0583	複合因子H (ヘパプラスチンテスト)
3982	D-ダイマー
1186	プロテインC 《定量》
1139	プロテインC 《活性》
4205	プロテインS
0581	プラスミノーゲン (PLG) 《定量》
0573	プラスミノーゲン (PLG) 《活性》
4207	t-PA・PAI-1 複合体
0561	アンチトロンビン III (AT III) 《定量》
0572	アンチトロンビン III (AT III) 《活性》
3983	トロンビン・アンチトロンビン III 複合体 (TAT)
5156	プロトロンビンフラグメントF1 + 2 (F1 + 2)
0574	アンチプラスミン活性 (2PI) (2プラスミンインヒビター)
3642	2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PIC)

コード	検査項目名
0577	PIVKA- II 《ラテックス凝集法》
1927	フィブリンモノマー複合体 (FM テスト)
4198	フィブリンモノマー複合体 (SFMC) 定量
4613	トロンボモジュリン (TM) 血漿
1131	フォン・ウィルブランド因子定量 (第 VIII 因子様抗原)
4686	フォン・ウィルブランド因子活性 (リストセチンコファクター)
7898	ループスアンチコアグラント (LA)
1340	第 II 因子活性
1656	第 V 因子活性
1676	第 VII 因子活性
0597	第 VIII 因子活性
0598	第 IX 因子活性
1677	第 X 因子活性
1678	第 XI 因子活性
1679	第 XII 因子活性
1680	第 XIII 因子定量
1924	第 VIII 因子インヒビター
1925	第 IX 因子インヒビター